

令和7年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園
鶴山台国際幼稚園

当園ではこの度、令和7年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び学校関係者評価、保護者アンケートを実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この評価結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

身体も心ものびのびと過ごせる、情操と知育を総合させた教育を目指しています。
きちんとした価値観やモラルを身につけること。それが心身を健やかに成長させ、子どもの未来を創る原動力となります。

保育するうえでは、「徳育、知育、体育、国際化（英語教室）」の4つの理念を大切に、その中で息づく「こころ」を育てる教育を実践しております。

きちんとしたモラルを身につけ、親孝行で将来社会の役に立つ人として育てていくよう、教諭、講師、職員の力をあわせ、お子様達の保育をすすめてまいります。

II. 今年度の重点目標

- 教職員の資質向上
- 教職員間の連携強化
- 安全管理体制の充実
- 園全体の発展

III. 自己評価項目と取組み状況

自己評価項目		取組み内容	
1	教職員の資質向上	子どもにとってよりよい教育のためにどのような取組みをしましたか？	A 研修への積極的な参加を通じ、各自の専門性と指導力の向上を図りました。保育の振り返りや自己評価を習慣化し、子どもの発達に応じた関わり方の改善に取り組みました。複数名が外部研修を受講し、学びを園内で共有する機会を設けました。
2	教職員間の連携強化	会議や終礼等の情報共有によってどのような取組みをしましたか？	A 定期的なミーティングや申し送りの充実により、職員間の情報共有が円滑になりました。担任間・クラス間での連携を意識した取り組みが増え、子どもの様子を多面的に把握できる体制が整いつつあります。

令和7年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園
鶴山台国際幼稚園

自己評価項目		取組み内容	
3	安全管理体制の充実	子どもたちが安全に遊具を利用できる環境を整えるために、遊具の確認を定例化して行う。避難訓練の回数やその方法・設定について再度検討する。	B 避難訓練の実施や日常的な安全点検を継続し、リスク意識の向上に努めました。ヒヤリハット事例の共有を通じて危険箇所の把握と予防的対応が進み、子どもの安全を守る意識が職員全体に浸透しています。
4	園全体の発展	園全体の発展につなげるため、保護者アンケートの集約意見を教職員全体で考察する。	B 保護者との信頼関係の構築や、地域との連携を意識した保育を展開しました。園の理念や目標を職員間で再確認し、一体感を持って保育の質向上に向けた取り組みを進めています。行事の見直しや環境整備も積極的に行っています。

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

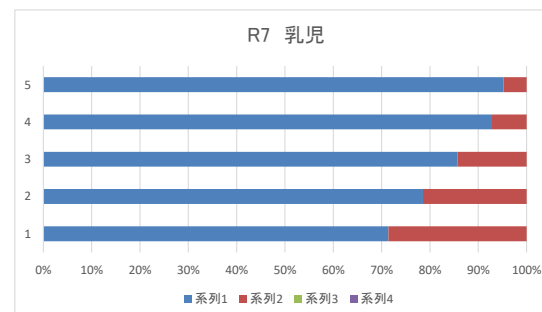
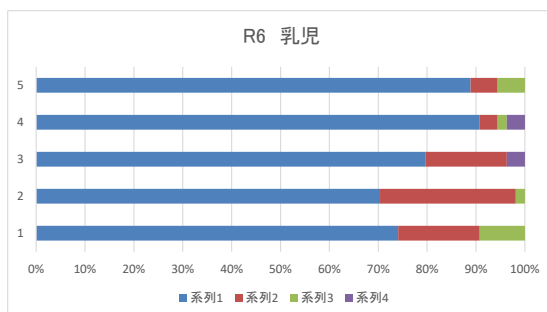
1	教職員の資質向上	研修内容の実践への落とし込みと、全職員への知識共有の仕組みづくりを行っていききたい。
2	教職員間の連携強化	非常勤職員を含めた全体での連携強化と、情報共有の記録・継続性の確保が必要。
3	安全管理体制の充実	ヒヤリハットの記録・分析をさらに体系化し、再発防止策の継続的な見直しを行っていききたい。
4	園全体の発展	職員全体が園の方向性を共有し、中長期的な視点で保育改善を継続する仕組みを構築していききたい。

V. 保護者アンケートの結果

■アンケートの集計結果

<乳児クラス>

質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5
お父さんは、園に登園することを楽しみにしていますか？	お父さんは、感受性が豊かだと感じる時がありますか？	お父さんは、クラスの先生に親しみを持っていますか？	お父さんは、園生活で成長していると感じますか？	お父さんは、自園給食の内容に満足していますか？



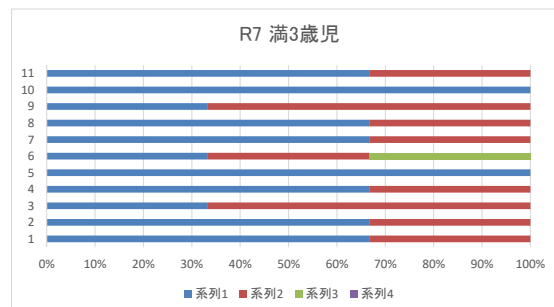
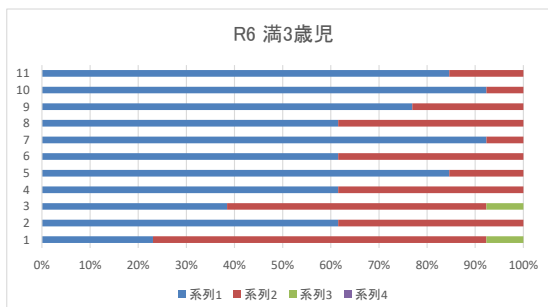
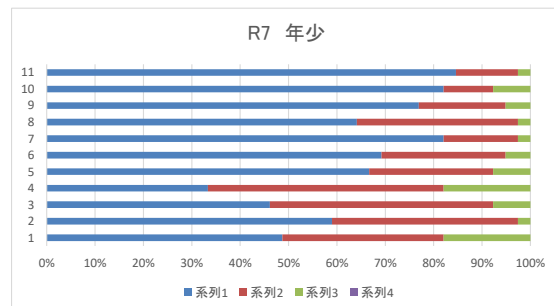
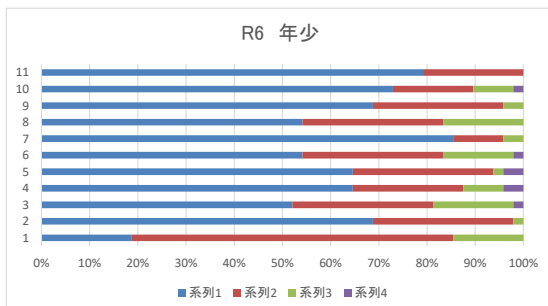
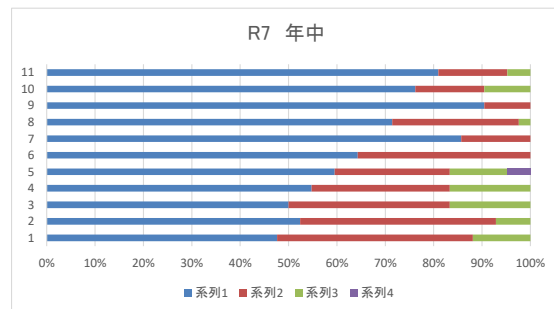
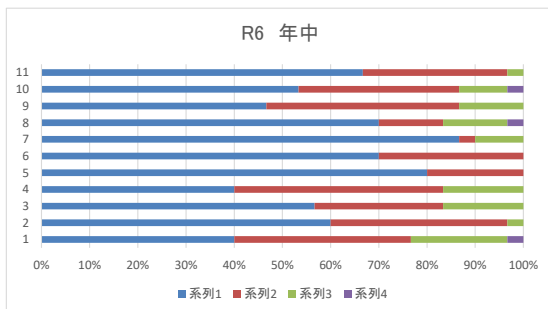
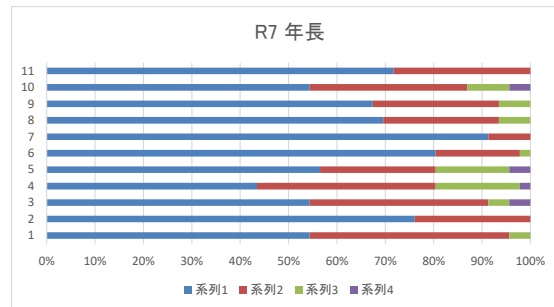
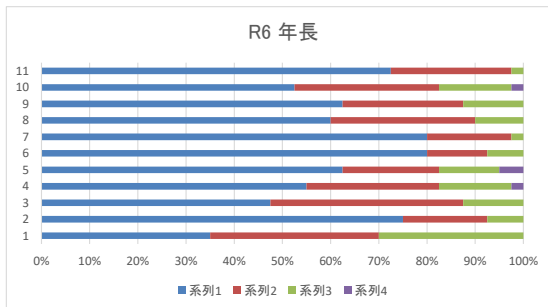
令和7年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園
鶴山台国際幼稚園

<満3歳児・年少・年中・年長クラス>

質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5
お父さんは、誰にでも自分から挨拶をしたり、感謝の気持ちを伝えることができますか？（ありがとうの言葉など）	お父さんは、感受性が豊かだと感じる時がありますか？	お父さんは、話を聞く時、相手の目を見て聞くことができますか？	お父さんは、お家で進んでお手伝いをすることができますか？	お父さんは、絵本に興味を持ち、読んでもらうとする姿勢が見られますか？

質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11
お父さんは、集団生活の基本（順番を守るなど）がきちんとできていますか？	お父さんは、体育活動（跳び箱、縄跳び、鉄棒、一輪車、ボールなど）を楽しみにしていますか？	お父さんは、園に登園することを楽しみにしていますか？	お父さんは、体育活動を通じて、体が丈夫になったと思いますか？	お父さんは、英単語や英語の歌などに興味を示していますか？	お父さんは、自園給食の内容に満足していますか？



■アンケート結果の考察(気付いた事・今後の課題など)

<乳児クラス>

質問1 園生活の中で殆どのこどもが登園を楽しみにしてくれている結果にうれしく思います。ちいさなこどもの事ですので、日によって機嫌の良いとき悪いときもあると思いますが、毎日楽しみに登園してもらえるように、これからも寄り添っていきます。

質問2 感受性については、乳児のお子様は発達途途中な部分もあると思いますが、笑ったり泣いたりいろんな表情をみせてくれていますので、これからもたくさん経験の中から感受性を育んでいってもらえるように過ごします。

質問3 園で関わる保育者は保護者の役割を担って保育しています。今回「あまりそうおまわない」の回答があり子どもたちへの関わりについて振り返り、担任への親しみが増すように頑張ります。

質問4 保育する中でお子様の成長を殆どの方が感じて頂いている事を、うれしく思います。しかし「そう思わない」との回答もありました。日々生活する中で園での子どもの様子や成長をお伝えし保護者と担任と共有しながらたくさん経験のなかで成長を感じていただけるように取り組みます。

質問5 自園給食に満足して頂けてとてもうれしく思います。管理栄養士や調理士も、どんな調理方法だったか子どもたちが喜んで食べてくれるのか考えています。子どもたちも好き嫌いをなく食べられるようになり、おかわりもするようになっていきます。これからも楽しい食事が提供できるよう努めます。

<幼児クラス>

質問1 挨拶については、場所や環境も関係あると思われます。園生活では挨拶は当たり前になっている所もありますが、「自分から」という所に難しさがあるのかも知れません。挨拶当番など挨拶ができる環境づくりを工夫していきます。

質問2 感受性はどの学年も良い結果が出ていると思います。こどもだからこそ感じられるものを大切にしながら、園生活を通して様々な経験のなかでより豊かな感受性を育める様に、取り組んでいきます。

質問3 相手の目を見て聞くことは、集中力がいらいます。アンケートの中でゲームやタブレットに夢中になっているという回答がありました。園ではお話を聞くときに目を見ることを声掛けして出来ていますので、環境も必要なのかも知れません。

質問4 学年によって違いはありますが、進んでお手伝いしている事はうれしく思います。園でもお当番活動を通してお手伝いを積極的に取り組めるようにしています。お手伝いを通して役立つ喜びを感じ、家庭でのお手伝いも促していくようにします。

質問5 結果は学年によって差はあるようですが、園で行っている貸出絵本を読み聞かせて頂いていることを、うれしく思います。絵本を通して想像力を育んだり、字を覚えたりしますので絵本を活用して頂きたいと思えます。

質問6 集団生活をする中でルールや約束を守って過ごすことは出来ていると思えます。成長する毎に意識も高まってきますので、こども自身がルールを理解し実践が習慣づくようにしていきます。

質問7 体育活動ではどの学年も楽しく指導をうけています。こどもによっては得手不得手もありますし、興味のあるなしによっても変わってくると思えます。縄跳び、跳び箱、鉄棒、ボールは体育指導を通して上達しています。出来たことを喜び、達成感を味わいながら積極的に参加できるように講師とも連携していくようにします。

質問8 登園を楽しみにしている事も毎日のことになると日によっての違いもあると思えます。何かあるとぐずってしまい、保護者と離れる不安もあるようですが、不安が軽減され登園を楽しみにして頂けるよう子どもたちに寄り添っていくようにします。

質問9 体育指導を通して基本的な走る、跳ぶ、ぶら下がるなどの動きをサーキットで経験しています。年齢によりだんだんと体力がついてくるものですので、遊びや指導を通して楽しみながら体力づくりに繋がられるようにします。

質問10 英語指導では年齢に応じた指導をしています。小さな学年は歌やゲームを楽しみ、年長になるとアルファベットを習い、書く練習もします。言葉の理解は難しい事もあると思えますが指導だけでなく日々の生活の中で常勤のteacherと関わり耳から自然と英語に親しむ環境をより多くつくるようにしていきます。

質問11 多くのこどもたちが自園給食に満足して頂けてうれしく思います。食育を通して苦手だったものも食べられるようになり、食べる事の大切さも学べていると思えます。又、調理実習を通して季節の旬の食べ物を知ったり、節句の料理を作って食べたりして興味を持てるようにしています。管理栄養士と連携しながら美味しく楽しく食べ、更に満足してもらえるように取り組みます。

VI. 学校関係者の評価

私は体育指導の外部講師として、日頃から園の先生方と関わらせていただいております。日々の体育指導では、先生方から積極的にご質問をいただいたり、運動会などで取り組む内容について相談を受ける機会も多くあります。特に、運動会の内容は、子ども達の「好きなこと」「苦手なこと」「頑張っていること」など、普段の様子をもとに考えられており、先生方が一人ひとり丁寧に寄り添っておられることを感じます。「園での取り組み」という視点として、年長での「課題」に向けて、年中・年少の頃から自由遊びの中で鉄棒や一輪車に親しめるよう取り組まれている点は、とても素晴らしいと感じています。また、2歳児クラスでは、毎週サーキット運動を実施し、1歳児クラスでも、先生方でサーキットや体育活動を取り入れることで、次年度の体育活動へスムーズにつながる環境づくりがされています。先生方同士の連携はもちろん、私も情報共有しながら行えています。

日々の業務が忙しいことが想像できるなか、教職員の資質向上のために研修の開催、園内共有を取り組みにいれているとの事、いち保護者としてありがたく思いました。クラス外の先生にも子どもの名前を覚えてもらっていたり、声をかけてもらったり、子どもの園での様子をきくという事が送迎時にもよくあり、先生方みなさんで子ども達をみている等、先生方同士の連携もとれているんだらうなと思う場面もあり、安心感があります。教職員の資質向上、教職員間の連携強化がA評価で、保護者としては頼りがいがあり、安心感があります。安全管理体制の充実の項目では、どうしても子ども達の活動中でのことなので、予想外の事が起きてしまうことの方が多いのではないかと思います。その中で考えられる事に対して、点検や避難訓練の実施もされていると思うので、親として家で「今日の避難訓練はどんな事をしたの?」とか、「先生さんのお約束はちゃんと守ろうね!」など、子どもと話をして再確認する機会が作れたらと思いました。

以上